

2018春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

N o . 6

2 0 1 8 年 2 月 1 4 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

J R 四 国 労 組 第 3 1 回 定 期 本 部 委 員 会

2 0 1 8 春 季 生 活 闘 争 方 針 を 決 定

2月9日、J R 四国労組は、香川県宇多津町で第31回定期本部委員会を開催した。委員会では「安全・安定・安心輸送の確立」「2018春季生活闘争」「政策課題解決」を3本柱とする、当面の活動方針を満場一致で決定した。

中濱委員長が2018春季生活闘争にむけた決意を示す

冒頭、執行部を代表して中濱斉執行委員長（J R 連合副会長）が挨拶に立ち、J R 四国労組を取り巻く諸課題について、昨年9月の台風による予讃線の被災や「鉄道ネットワーク懇談会Ⅱ」等の情勢を踏まえつつ、所信を述べた。中でも、2018春季生活闘争、安全確立にむけた取り組み、政策・政治に関する取り組みの考え方を中心に、J R 連合とも連携を強化し対応していく決意を明らかにした。来賓として、連合香川・森会長、四国交運労協の志摩事務局次長から連帯挨拶があったほか、J R 連合からは政所大祐企画・国際部長が出席し、J R 連合としての代表挨拶を行った。

定期昇給確保を絶対条件としてベア要求を決定、夏季手当を同時要求

議事では、本部委員・特別本部委員の25人より、ベア獲得にむけた想いや人事・賃金制度、男女平等参画に関する課題、四国新幹線導入等の政策課題、要員不足や長時間労働是正をはじめとする広範な業務課題に関する質疑・意見があった。全ての発言に対する執行部の中間答弁、及び大谷清書記長の総括答弁を経て、全議案が満場一致で承認された。2018春季生活闘争については、厳しい環境下でも、定期昇給の確保を絶対条件として、J R 連合方針に沿った「純ベア3000円を含む月例賃金総額6000円以上の引き上げ」を掲げ、制度・政策要求等も合わせ、総合生活改善闘争として取り組むことを決めた。また、夏季手当を同時要求することも決定された。

以 上